

校長室からこんにちは

令和5年6月22日（木）



戻ってきた歌声

本日音楽集会がありました。全校が一堂に会し、歌声を響かせてくれました。今回合唱復活の先陣を切ってくれたのは6年生です。2曲歌った後、3曲目は、全校合唱です。4年ぶりに聴く響き渡る歌声。もう、戻ってこないのかなと思う歌声の復活に、目から心の汗があふれそうになりました。6年生・みんなもステキな歌声を有難う！



先入観の怖さ

先日、教室で、**広い視野**をもつことの大切さについて話す機会がありました。一方的な見方や先入観、つまりバイアスがかかった状態では正しい判断ができないことは、誰しもがわかっていることです。しかし、なぜか実際の場面では、わかっているてもできないようです。かつて私が勤めていた学校でのことです。友だちとトラブルを起こしてしまう男の子がいました。ある日、その男の子が女の子を突き飛ばして転ばせてしまいました。その次の瞬間、転んだ女の子の手を取って、引っ張ったのです。引っ張られた女の子は、さらに体制を崩しました。周りで見っていた友達も、大人も、一斉にその男の子を責めたり注意したりしました。勿論、どんなことがあったにせよ、突き飛ばすという行為はよくありません。ただ、私は「手を引っ張った」という行為に対する周りの解釈に違和感を覚えました。私には、「転ばせてしまったから、早く起こさなくては」という謝罪+失敗を取り返す行為に見えたからです。しかし、周りの皆から一方的に責め立てられているその男の子は、言葉で説明できる余裕などありません。怒って泣き叫ぶのが精いっぱいです。私は、間に入ってけがの有無を確認するとともに、腕を引っ張った意図を本人に確かめました。すると、私の解釈通りだったので、それを代弁しました。本人が話せたとしても、周りの人は「説明」ではなく「言い逃れ」と受け止めたかもしれません。

先入観って怖いな…今でも時々思い出すシーンです。